

第6学年 国語科学習指導案

児童 第6学年 男10名 女14名 計24名
指導者 高橋 敦子

1 単元名 筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう

教材名 「平和のとりでを築く」
「自分の考えを発信しよう」

2 単元について

(1) 児童について

児童はこれまで、5年上「サクラソウとトラマルハナバチ」「千年の釘に挑む」で、感想をまとめながら、説明的文章について要旨をとらえ、自分の意見をもつことを学習してきている。また、6年上「生き物はつながりの中に」の学習を通して、筆者の主張に対する自分の考えをまとめ、発表する活動を行ってきた。

これらの学習を通して、児童は説明文全体の構成の特徴を読み取ったり、事象と筆者の考えを区別しながら筆者の伝えたいことが何かを考えたりして、自分なりの考えでまとめることができるようになってきた。しかし、事前テストの結果から、要点をとらえたり、中心文を見つけたりすることができない児童も多く、文章の読み取りについて大きな個人差があることが明らかになった。また、他の児童の意見を受けて自分の考えを膨らませたり、学級全体の場で自分の考えを積極的に述べたりしていこうとする意欲が高いとはいえない。

(2) 教材について

本単元における「読むこと」の主な指導事項は、「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかんたりにすること」（読むことウ）である。

教材「平和のとりでを築く」は、語り手「わたし」の視点で、傷だらけの「物産陳列館」が、平和を希求する人々の心によって、世界遺産「原爆ドーム」となった経緯を述べた文章である。全体で13の段落から成り、「筆者の思い—原爆ドームがたどった歴史—原爆ドームの永久保存が決まるまで—世界遺産への道のり—まとめ」という文章構成になっている。原爆がもたらした惨害を、原爆ドームの痛ましい姿に象徴する淡々とした解説だからこそ、核兵器廃絶に半世紀を捧げた筆者の考え方・生き方が伝わってくる。最終段落は、未来を託した世界の人々への強いメッセージであり、読み手である児童に、平和の実現に対する共感や行動への動機づけを与えていると受け止められる文章である。

本教材は、文章が簡潔で分かりやすく、時間の流れに沿って説明されており、段落と段落の関係が比較的とらえやすい文章である。また、筆者の主張を読み取り、自分の考えをもち、さらに発信する力を育てるのに適した教材である。

(3) 指導について

「つかむ」では、まず全文を読み、学習の見通しをもたせる。教材文を学習した後、自分の考えを発信する活動を確認し、児童が目的をもって学習できるようにする。

「深める」では、「原爆ドームがたどった歴史」と「筆者の考え」を常に対処させながら学習を進め、事実や時間の流れをおさえながら正確に読み取り、筆者が伝えたかったことにつなげたい。まとめでは、筆者の伝えたいことについて、友達の考えをもとに自分の考えを振り返ることによって、さらに自分の考えを深めさせたい。

「広げる」では、平和にかかわるいろいろな資料を集めて読み、さらに考えを深めて自分の考えを明確に伝えるために文章を工夫して発表させたい。そして、この学習を通して自分の「平和」に対する考えがどのように変わったり、深まったりしたか交流しまとめたい。

(4) 家庭学習と授業とのつながりについて

つかむ	漢字練習、語句調べ、戦争や平和に関する資料集め、作文「平和とは」
深める	音読、視写・書き込み、授業作文
広げる	音読、関連図書の読書、作文「平和のとりでを築くを学習して」

(5) 小中連携に関わって

- ・中学校での学習を意識し、家庭学習に予習を多く取り入れる。
- ・日記や作文を書かせたり、友達が書いたものを読み合い交流し合ったりすることで、自分のものの見方や考え方を広げる（中1の指導事項）ことを意識して指導する。

3. 単元目標

(1) 関心・意欲・態度の目標

筆者の訴えを受けて自分なりの考えをもち、「平和」について関心をもって話し合ったり、書いたりしようとする。

(2) 能力の目標

◎事象と筆者の訴えの関係を押さえ、それらについて自分の考えをまとめながら読むことができる。（読むこと ウ）

○自分の考えを明確に表現するために、材料を選んだり、効果的な文章の組み立てを考えたりしている。（書くこと イ）

(3) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する目標

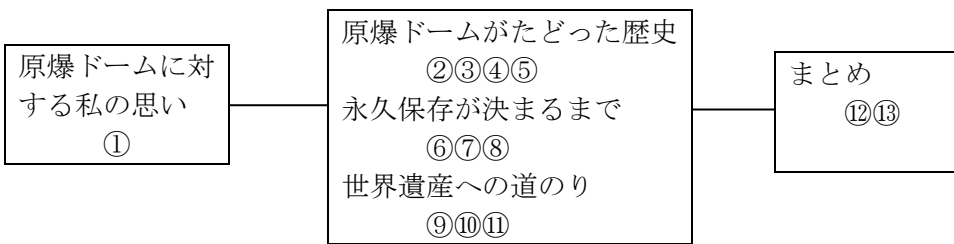
段落と文章全体との関係をとらえ、文章の構成を理解することができる。（伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 キ）

4. 単元の指導・評価計画(全14時間)

過 時 程	学習活動(指導内容)	評価規準		
		国語への 関心・意欲・態度	読む能力 書く能力	言語についての 知識・理解・技能
つ か む	1 ・全文を読み、初発の感想を書く。 ・新出漢字・語句を確認する。	内容の大体をつかみ、感想を書こうとしている。	内容の大体をつかみ、感想を書いている。	新出漢字を読み、正しく書くことができる。
	1 ・単元名、教材名を読み、学習内容の見通しをもつ。 ・文章構成を概観して、学習課題を設定する。 ・接続語や文末表現、重要語句の確認をする。	段落の構成を考えながら、学習課題や単元の見通しをもとうとしている。	教材名から、筆者の訴えようとしていることや現在の社会問題について、自分なりの考えをもっている。	簡単な文章構成を理解している。
深 め る	1 ・1段落を読み、「原爆ドーム」への筆者の特別な思いを読み取る。	「原爆ドーム」への筆者の特別な思いを読み取ろうとしている。	「原爆ドーム」への筆者の特別な思いを読み取っている。	文のつながり方や重要語句に気をつけて読んでいく。

1	<ul style="list-style-type: none"> 2～5段落を読み、「原爆ドーム」がたどった歴史について読み取る。 	<p>叙述の内容について事実関係を押さえながら、読み取ろうとしている。</p>	<p>事実関係を押さえ、て、「原爆ドーム」がたどった歴史を読み取っている。</p>	<p>文のつながり方や重要語句に気をつけて読んでいる。</p>	
1	<ul style="list-style-type: none"> 6～8段落を読み、「原爆ドーム」の永久保存が決まるまでについて読み取る。 	<p>「原爆ドーム」保存運動への経緯を読み取ろうとしている。</p>	<p>「原爆ドーム」を保存するに至った経緯を読み取ることができている。</p>	<p>文のつながり方や重要語句に気をつけて読んでいる。</p>	
1	<ul style="list-style-type: none"> 9～11段落を読み、「原爆ドーム」が世界遺産になるまでの経緯とその意義を読み取る。 	<p>「原爆ドーム」が世界遺産に登録された意義を読み取ろうとしている。</p>	<p>「原爆ドーム」が世界遺産に登録された背景にある世界の人々の平和への願いを読み取っている。</p>	<p>文のつながり方や重要語句に気をつけて読んでいる。</p>	
1	<ul style="list-style-type: none"> 12～13段落を読み、筆者が訴えたいこと、伝えたいことをまとめる。 	<p>筆者の意見や感想をとらえ、自分の考えをもととしている。</p>	<p>筆者の意見や考えをとらえ、自分の立場から筆者の考えについて考えを持ちながら読み取っている。</p>	<p>文のつながり方や重要語句に気をつけて読んでいる。</p>	
1 本 時	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の伝えたいことをまとめ、自分の考えをもつ。 	<p>自分の考えと友達の考えを比べながら聞き、まとめようとしている。</p>	<p>筆者の意見や考えをとらえ、自分の立場から筆者の考えについて考えを持ちながら読み取っている。</p>	<p>文のつながり方や重要語句に気をつけて読んでいる。</p>	
広 げ る	1	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の伝えたいことをもとに平和について考え話し合い、調べることを具体化する。 	<p>自分の伝えたいテーマを進んで考え、学習の見直しを持とうとしている。</p>	<p><以下 書く能力></p>	
	2	<ul style="list-style-type: none"> 仮の要旨を作り、それに説得力をもたせる材料を集める。 	<p>いろいろな方法で必要な情報を集めようとしている。</p>	<p>必要な情報を集めている。</p>	<p>必要な語句について、辞書などを使って調べようとしている。</p>
	2	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを書きまとめ、推敲する。 	<p>自分の考えが伝わりやすい文章を進んで書くようとしている。</p>	<p>考えを伝えるために効果的な表現になっているか見直している。</p>	<p>文章構成を工夫して表現している。</p>
	1	<ul style="list-style-type: none"> 書きまとめたものを伝え合う。 	<p>自分の考えを広めたり深めたりしようとしている。</p>	<p>友達の考えを聞き、感想を述べている。</p>	

5 教材分析

言語事項	<p><指示語>この その それは あの このこと その後 <接続語>そして また しかし <文末表現>～という。～となった。～である。～ている。～なのだ。</p>
要点	<p>①広島市には、一発の原子爆弾で破壊され、そのままの形で今日まで保存されてきた「原爆ドーム」と呼ばれる建物がある。 ②もともとは物産陳列館で、小さいながら一際目立つ建物であった。 ③この建物は、広島を取り巻く時代の流れをじっと見守ってきた。 ④1945年8月6日の朝、広島市に原子爆弾が投下され、市民の多くは一瞬のうちに生命を奪われ、川が死者で埋まるほどであった。 ⑤爆心地に近かったこの建物は、たちまち炎上し、中にいた人々は全員なくなった。丸屋根の部分は、支柱の鉄骨がドームの形となり、この傷だらけの建物の最大の特徴を、後の時代にとどめることとなった。 ⑥原爆ドームを保存するか、取り壊してしまうか戦後間もない広島では議論が続いた。 ⑦市民の意見が原爆ドーム保存に固まったのは、急性白血病で亡くなった一少女の日記がきっかけであった。 ⑧全国から保存を願う手紙や寄付が次々と広島に届けられるようになった。 ⑨日本がユネスコの世界遺産条約に加盟した直後から、広島では原爆ドームを世界遺産にしようという動きが高まった。 ⑩世界遺産は、人間が歴史に大きな役割を果たした文化遺産と、地球上にある貴重な自然遺産を未来へ向けて守っていくための制度で、すでに七百ヵ所以上が世界遺産として手厚く保護されている。 ⑪世界の国々が原爆ドームを世界遺産として認めるか、不安があったが、決定の知らせを聞いて、世界の人々の平和を求める気持ちの強さを改めて感じた。 ⑫痛ましい姿の原爆ドームは、原子爆弾が人間や都市にどんな惨劇をもたらすかをわたしたちに無言で告げている。 ⑬原爆ドームは、それを見る人の心に平和のとりでを築くための世界遺産なのだ。</p>
文章構成	
筆者の思い	<p>原爆ドームは、それを見る世界中の人々の心に、核兵器の使用禁止、さらには、戦争を許さず、平和を守っていく強い意志を築くために後世に伝える世界遺産なのだ。</p>
発展	<p>「平和」「戦争」に関する本を読み、平和をテーマに自分の考えを深めたり、広げたりし、考えを交流し合う。</p>

6 本時の指導

(1) ねらい

筆者の思いを読み取り、それに対する自分の考えをもつことができる。

(2) 展開

	学習内容・学習活動	・支援「主発問」○評価 ●家庭学習を生かした働きかけ
つかむ 5分	<p>1 前時までの学習を想起する。</p> <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>筆者が「平和のとりでを築く」を通してうったえたいことをまとめ、それに対する自分の考えをもとう。</p> </div>	<p>●前時までの授業作文を紹介し、学習意欲を高めることにつながる。</p> <p>・今までの学習の流れを掲示して、見通しを持てるようにする。</p>
深める 38分	<p>3 課題を解決する。</p> <p>(1) 「平和のとりでを築く」とは、どういうことか自分の考えを発表する。 【深める学び合い(全体)】</p> <p>(2) 筆者のうったえに対する自分の考えを発表する。 【広げる学び合い(全体)】</p> <p>(3) 学習のまとめをする。 【一人学び】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>筆者は、「平和のとりでを築く」を通して、()とうったえているのだと考える。 だから、これから私は()ということを考えて生活していきたい。</p> </div> <p>(4) 「筆者の言葉」を紹介する。 【収束する学び合い(全体)】</p>	<p>・全員で13段落を音読する。 「平和のとりでを築くとは、どういうことでしょう。」</p> <p>・「とりで」「築く」という言葉の意味をおさえる。</p> <p>・平和のとりでをどこに築くのかおさえる。</p> <p>・筆者のうったえたいことについて、前時に自分がまとめたものを自信をもって話せるよう目を通しておき、その子の読みを認めながら進めていく。</p> <p>・児童の考えが見て分かるよう、板書に整理する。</p> <p>・「筆者のうったえに対して、みんなはこれからどんなことを考えて生活していきたいと思いましたか。」</p> <p>・友達の考えを聞いて自分の考えが前と変わってもいいこと、書き方は例文通りではなくてもいいことを伝える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><具体的評価規準></p> <p>A 友達の発表を聞き、友達の考えによって別の考えが生まれたり、自分の考えが深まったりしたことを書いている。</p> <p>B 友達の発表を聞き、学び合いを生かしてまとめている。</p> <p>Cへの支援 友達の考えに対してどんなことを感じたか考えさせる。</p> </div> <p>・この文章を通して伝えたかった、筆者の思いや願いをしっかりと気づかせる。</p>
まとめる 2分	<p>5 次時の学習内容を確認する。</p>	<p>・次時からは、平和について集めた資料をもとに、平和に対する自分の考えを意見文に書く活動をする学習に入ることを伝える。</p> <p>●家庭学習で、友達の考えを聞いての感想を授業作文に書くことを伝える。</p>

(板書計画)

平和のとりでを築く

大牟田稔

筆者が「平和のとりでを築く」を通してうったえたことをまとめ、それに対する自分の考えをもとう。

筆者の考え

原爆ドームは、それを見る人の心に**平和のとりでを築く**ための世界の遺産なのだ。

心に

平和のとりでを築く

戦争をしない強い心をもつ
平和を守っていく意志をもつ
核兵器を持たない気持ち

筆者は、「平和のとりでを築く」を通して（
）と、うったえているのだ
と考える。だから私は、（
）
ということを考えて生活していきたい。

- ・平和を守っていく強い意志をもってほしい
- ・二度と戦争のない世の中にしてほしい
だから・・・
- ・自分のことだけ考えず相手のことも考えて生活していきたい
- ・正しいことを貫く勇氣をもって生活していきたい